

沖縄の日米共同反革命基地化に反対する

アジア諸国人民と連帯し、自衛隊沖縄派兵 釣魚台領有策動に反対する闘いを組織せよ!



第55号
定価 30円

発行所
東京 都庁ビルヂング
11-2121
怒 澤社
電話 03-2437-4011
03-2437-4012
03-2437-4013
03-2437-4014
03-2437-4015
03-2437-4016
03-2437-4017
03-2437-4018
03-2437-4019
03-2437-4020
03-2437-4021
03-2437-4022
03-2437-4023
03-2437-4024
03-2437-4025
03-2437-4026
03-2437-4027
03-2437-4028
03-2437-4029
03-2437-4030
03-2437-4031
03-2437-4032
03-2437-4033
03-2437-4034
03-2437-4035
03-2437-4036
03-2437-4037
03-2437-4038
03-2437-4039
03-2437-4040
03-2437-4041
03-2437-4042
03-2437-4043
03-2437-4044
03-2437-4045
03-2437-4046
03-2437-4047
03-2437-4048
03-2437-4049
03-2437-4050
03-2437-4051
03-2437-4052
03-2437-4053
03-2437-4054
03-2437-4055
03-2437-4056
03-2437-4057
03-2437-4058
03-2437-4059
03-2437-4060
03-2437-4061
03-2437-4062
03-2437-4063
03-2437-4064
03-2437-4065
03-2437-4066
03-2437-4067
03-2437-4068
03-2437-4069
03-2437-4070
03-2437-4071
03-2437-4072
03-2437-4073
03-2437-4074
03-2437-4075
03-2437-4076
03-2437-4077
03-2437-4078
03-2437-4079
03-2437-4080
03-2437-4081
03-2437-4082
03-2437-4083
03-2437-4084
03-2437-4085
03-2437-4086
03-2437-4087
03-2437-4088
03-2437-4089
03-2437-4090
03-2437-4091
03-2437-4092
03-2437-4093
03-2437-4094
03-2437-4095
03-2437-4096
03-2437-4097
03-2437-4098
03-2437-4099
03-2437-4100

プロレタリア世界革命の旗の下
万国の労働者団結せよ!
労働者共産主義委員会

(一) 沖縄「施政権返還」とは何か

五月五日、沖縄の施政権が日本に返還された。これは、第二次世界大戦の終結後、沖縄がアメリカ軍の統治下から日本の統治下に戻ることを意味する。しかし、この返還は、沖縄の人民が望んでいたような完全な自治や主権の回復を意味するものではない。むしろ、日本とアメリカの共同反革命基地化を進めるための手段として行われている。この返還は、沖縄の人民にどのような影響を及ぼしているのか、それは以下の通りである。

民族主義、排外主義を粉砕し、日米支配階級打倒の道を前進せよ!

沖縄の人民は、長い間、日本とアメリカの支配に苦しんで来た。彼らは、自衛隊の駐屯、基地の建設、そして資源の搾取に苦しんでいる。彼らは、民族主義や排外主義を振りかざして、自分たちの苦境を正当化しようとしている。しかし、我々は、民族主義や排外主義を粉砕し、日米支配階級打倒の道を前進せよ! 我々は、沖縄の人民と連帯し、彼らの苦境を解決するために努力する。我々は、沖縄の人民が望んでいるような完全な自治や主権の回復を達成するために努力する。我々は、沖縄の人民と連帯し、彼らの苦境を解決するために努力する。

4.19 李承晩打倒朝鮮革命12周年に際して

南北朝鮮の自主的統一の闘いを支持し、日本支配階級の侵略の野望を粉砕せよ!
南北朝鮮の自主的統一の闘いを支持し、日本支配階級の侵略の野望を粉砕せよ! 朝鮮半島の統一は、アジアの平和と安定にとって不可欠な要素である。我々は、南北朝鮮の人民と連帯し、彼らの自主的統一の闘いを支持する。我々は、日本支配階級の侵略の野望を粉砕し、朝鮮半島の統一を達成するために努力する。我々は、南北朝鮮の人民と連帯し、彼らの自主的統一の闘いを支持する。

南北朝鮮の自主的統一の闘いを支持し、連帯する

四月十九日、朝鮮半島の統一をめぐって、南北朝鮮の人民が自主的統一の闘いを展開している。我々は、この闘いを支持し、南北朝鮮の人民と連帯する。我々は、日本支配階級の侵略の野望を粉砕し、朝鮮半島の統一を達成するために努力する。我々は、南北朝鮮の人民と連帯し、彼らの自主的統一の闘いを支持する。

朴政権の危機と民衆離反の現実

朴正熙政権は、最近、危機に瀕している。民衆の離反が現実となっている。これは、朴政権の腐敗と専制政治の結果である。我々は、朴政権の倒壊を望み、民衆の離反を支持する。我々は、朴政権の倒壊を望み、民衆の離反を支持する。

朴の狂気の「あがき」

朴正熙の狂気の「あがき」は、朝鮮半島の平和と安定を脅かしている。我々は、朴の狂気の「あがき」を粉砕し、朝鮮半島の平和と安定を回復するために努力する。我々は、朴の狂気の「あがき」を粉砕し、朝鮮半島の平和と安定を回復するために努力する。

4.19 南朝鮮四月革命勝利12周年集会
主催 7.7連絡協

4.28 午後6時半 東京水産大教養棟大教室
自衛隊沖縄派兵阻止・世界革命戦争勝利総決起集会(予定)
主催 4.28集会実行委員会

4.28 午後一時 磯川公園(地下鉄丸の内線後楽園下車すぐ) 午後一時

(三) 沖縄の労働者人民の闘いに連帯する

沖縄の労働者人民の闘いに連帯する。我々は、沖縄の労働者人民の苦境を解決するために努力する。我々は、沖縄の労働者人民の闘いに連帯し、彼らの苦境を解決するために努力する。我々は、沖縄の労働者人民の闘いに連帯し、彼らの苦境を解決するために努力する。

ベトナム人民の全面攻勢新固支持/米軍の北爆全面再開弾/在日米軍基地からの反革命出撃を許すな!

ベトナム人民の全面攻勢新固支持/米軍の北爆全面再開弾/在日米軍基地からの反革命出撃を許すな! 我々は、ベトナム人民の全面攻勢を支持し、米軍の北爆を再開させないことを要求する。我々は、在日米軍基地からの反革命出撃を許さず、ベトナム人民の全面攻勢を支持する。

(二) 沖縄プロレタリアートの進むべき道

沖縄プロレタリアートの進むべき道。我々は、沖縄プロレタリアートの苦境を解決するために努力する。我々は、沖縄プロレタリアートの進むべき道を示し、彼らの苦境を解決するために努力する。我々は、沖縄プロレタリアートの進むべき道を示し、彼らの苦境を解決するために努力する。

非常事態宣言

非常事態宣言。我々は、非常事態を宣言し、沖縄の人民の苦境を解決するために努力する。我々は、非常事態を宣言し、沖縄の人民の苦境を解決するために努力する。我々は、非常事態を宣言し、沖縄の人民の苦境を解決するために努力する。

朴の対日依存の強化と連帯の活動の意義

朴の対日依存の強化と連帯の活動の意義。我々は、朴の対日依存の強化を粉砕し、連帯の活動を強化するために努力する。我々は、朴の対日依存の強化を粉砕し、連帯の活動を強化するために努力する。我々は、朴の対日依存の強化を粉砕し、連帯の活動を強化するために努力する。

赤炎

赤炎。我々は、赤炎を燃やして、沖縄の人民の苦境を解決するために努力する。我々は、赤炎を燃やして、沖縄の人民の苦境を解決するために努力する。我々は、赤炎を燃やして、沖縄の人民の苦境を解決するために努力する。

第二回春斗討論集会

資本に屈服している指導部の打倒へ

「第二回春斗討論集会」が、14日午後7時、労働組合教育センターで開かれた。出席者は、労働組合教育センターの同志、各労働組合の代表者、計約100名。集会は、労働組合教育センターの同志の報告から始まり、各労働組合の代表者が、各自の労働組合の春闘の経過と、指導部の打倒の必要を訴へた。集会は、労働組合教育センターの同志の報告から始まり、各労働組合の代表者が、各自の労働組合の春闘の経過と、指導部の打倒の必要を訴へた。

勤労婦人福祉法案 特定職職員育児休暇制案

支配と収奪強化の巧妙な手口 婦人労働者の闘いによせて

無給育児休暇の 強制と休暇制限

「勤労婦人福祉法案」が、4月14日、衆議院で可決された。この法案は、勤労婦人の福祉を目的として、育児休暇の取得を義務づけるものである。しかし、この法案には、無給育児休暇の強制と、休暇の制限が盛り込まれている。これは、資本の支配と収奪を強化するための巧妙な手口である。婦人労働者の闘いによせて、この法案を批判する。

「労働戦線統一」を めぐる簡単な経過

「労働戦線統一」をめぐる簡単な経過。労働組合教育センターの同志は、労働組合の統一を主張している。しかし、指導部は、資本の支配と収奪を強化するために、労働組合の統一を阻んでいる。労働組合教育センターの同志は、労働組合の統一を主張し、指導部の打倒を求めた。

実践的労働組合主義 労資協調の道を 歩む同盟・JC・総評指導部を打倒せよ！

(上)

「実践的労働組合主義」を掲げる同盟・JC・総評指導部は、労資協調の道を歩むことを主張している。しかし、これは、資本の支配と収奪を強化するための巧妙な手口である。労働組合教育センターの同志は、この指導部を打倒し、労働組合の統一を主張する。

同盟 総評指導部 の欺瞞的主張

同盟・JC・総評指導部の欺瞞的主張。彼らは、労資協調を主張しているが、これは、資本の支配と収奪を強化するための巧妙な手口である。労働組合教育センターの同志は、この指導部を打倒し、労働組合の統一を主張する。

教育労働者の分断と管理強化狙

1. 管理職としての権 限明確化はかる

教育労働者の分断と管理強化狙。管理職としての権限明確化はかる。教育労働者は、分断と管理強化の狙いを打ち、労働組合の統一を阻んでいる。労働組合教育センターの同志は、この狙いを打ち、労働組合の統一を主張する。

2. 五段階給与導入は かり分断狙

五段階給与導入はかり分断狙。教育労働者は、五段階給与導入を主張しているが、これは、労働組合の統一を阻むための巧妙な手口である。労働組合教育センターの同志は、この狙いを打ち、労働組合の統一を主張する。

沖繩の日米共同反革命基地化に反対する アジア諸国人民と連帯し、自衛隊沖繩派兵 釣魚台領有策動に反対する闘いを組織せよ！

(1面続)

沖繩の日米共同反革命基地化に反対する。アジア諸国人民と連帯し、自衛隊沖繩派兵に反対する。釣魚台領有策動に反対する闘いを組織せよ！

(四) 返還選 の主張と決別せよ！

返還選の主張と決別せよ！ 労働組合教育センターの同志は、返還選の主張を打ち、労働組合の統一を主張する。

(五) 自衛隊派兵・釣魚台 領有宣言に反対し 総決起せよ

自衛隊派兵・釣魚台領有宣言に反対し総決起せよ。労働組合教育センターの同志は、自衛隊派兵・釣魚台領有宣言に反対し、総決起を主張する。

- はじめに
- 「労働戦線統一」をめぐる簡単な経過
- 総評臨時大会における「戦線統一」論議(以下次号)
- 日本共産党の態度批判
- 日本共産党の態度批判

3. 文部省 専門職論 と同じ土俵の社共

文部省 専門職論と同じ土俵の社共。労働組合教育センターの同志は、文部省の専門職論に反対し、労働組合の統一を主張する。

革命主義共産
NO.2 至300
我部備少

日本共産党の態度批判
日本共産党の態度批判